

令和4年度三重県精神保健福祉士協会9月例会

「ボタンでポン！」～みんなで作る交流会 報告

桑名ブロック

特定非営利活動法人よすが いーばしょ

野田 盛二

日時：令和4年9月11日（日）13:30~15:30

開催方法：Zoomによるオンライン開催

参加者：28名

（参考）年代別～20代6名、30代5名、40代14名、50代5名

当初の参加者名簿から計数。途中退室や参加できなかった人なども含む。

参加費：無料（三重県精神保健福祉士協会会員に限る）

内容：「ボタンでポン！」～みんなで作ろう交流会

桑名ブロックによる緊急企画です。いま抱えている思いをごちゃまぜにわかちあう、今ならではの交流会です。Zoomのアンケート機能を活用し、仕事やプライベートなどで感じていることをポンと投票！参加は、ニックネームや、顔隠しでも大丈夫。自分への気づきや、多様性を感じる機会です。

あいさつ 副会長 辻宏明さん

オリエン IT担当 田中雅也さん 全体進行 野田盛二

設問・前半テーマ『仕事と余暇』（アンケート結果は、当日チャットで確認）

設問進行 大埜美穂さん、山下貴也さん

ブレイクアウトルーム①へ（3グループ。見学・ニックネームあり）

グループ進行 辻謙二さん、江浪怜志さん、山下貴也さん

各グループ発表

休憩

設問・後半テーマ『PSW』

ブレイクアウトルーム②へ

グループ発表

まとめ 会長 下方宏明さん

終了後のGoogleアンケート 伊藤太一さん

以下、設問・アンケート機能ならびに結果

（※設問の企画 大埜美穂さん、山下貴也さん、桑名ブロックのみなさま、野田盛二）

<オリエン用設問>

○三重県は好きですか？

- ・ すごく好き 68%
- ・ まあまあ 28%
- ・ いいえ 4%

<前半テーマ『仕事と余暇』>

①余暇が充実していますか？

- ・ ○ 52%
- ・ × 48%

②余暇の過ごし方は？

- ・ 寝て過ごす 20%
- ・ もちろんデート 16%
- ・ 旅行 8%
- ・ 家でまったり（映画、音楽・・・） 40%

③休みの日に仕事の電話がかかってきたら電話に出る？

- ・ Yes 88%
- ・ No 12%

④上司や先輩から遊びや飲みに誘われたらどうするか？

- ・ タダなら喜んで 16%
- ・ 行きたくないが出世のために行く 8%
- ・ 時と人による 76%
- ・ 絶対行かない 0%

⑤今の仕事でなかったら、何をしていますか？

- ・ 営業 12%
- ・ 向上勤務 16%
- ・ YouTuber 8%
- ・ ニート 0%
- ・ その他 48%

<後半テーマ『PSW』>

⑥PSW と MHSW 名乗るならどっち？

- ・ PSW 88%
- ・ MHSW 13%

⑦PSW としての資質向上に対して、最も重視することは何ですか？

- ・ ケースワーク実践 79%
- ・ 書籍や論文などの専門知識 0%
- ・ 上司や先輩等からのスーパーバイズ 13%
- ・ 研修などに参加し、鮮度の高い情報を得ること 8%

⑧仕事中、自分も当事者あるあるだと感じることはある？

- ・ Yes 95%
- ・ No 5%

⑨どんな時にやりがいを感じるか？

- ・ 相談を受けた時 13%
- ・ 一緒に悩んでいる時 21%
- ・ 感謝された時 13%
- ・ 自分がもういらないと感じた時 38%
- ・ その他 17%

⑩三重 P に入ってメリットあった？

- ・ Yes 87%
- ・ No 13%

ファイナルアンケート

○今回の交流会はどうでしたか？

- ・ また参加したい 91%
- ・ 研修のほうがいい 4%
- ・ もうこりごり 4%

※これらの結果を踏まえ、各グループでディスカッションをしました。今回は、交流ということもあり、内容の報告は困難なため、割愛させていただきます。ちなみに、私が参加したグループでは、なぜか漫画の話題が満載。また、当事者あるあるについて、支援者として、人として寄り添うこと、と語りあう時間もありました。

ふりかえり

当初、予定していた「ゲームで学ぼう災害対策 ～P-HAG を通して～」は、新型コロナ感染の影響で、休止・延期となり、例会開催のピンチ。そんな時、ZOOMで集まった中で、アンケート機能のアイデアや、世代を超えた交流がなかなかできてない話から、今回の企画がスタートしました。広報まで、約一週間、開催まで一か月ちょっと。よく開催できたものです。

支援者もそれぞれ個性があり多様な人がいること、この時代だからできるみんなで作る交流、を意識しながらの例会の実践でした。今回の、ZOOMでアンケートや、見学・ニックネームでのグループワーク参加も一つの手法でしたが、まだまだできることがあるかもしれませんね。これからも、三重Pを活用しながら、交流だけでなく、それぞれの多様な機会を想像（創造）していければと感じています。

例会のまとめでも述べましたが、この設問の結果の数字のように表してしまうと、つい多数派が強く感じ、少数派の意見が見えづらくなるのではないかと感じてしまいます。うがった見方かもしれませんが。私は、今回の企画を通して、少数の意見に耳を傾けること、お互いを知る対話の大切さ、をあらためて考える機会になりました。

最後に、新型コロナの感染や普段の業務に翻弄されながらも、この企画に向き合っていたいただいた、桑名ブロックのみなさま、田中さん、伊藤さん、大埜さん、山下さん、「ボタンでポン！」命名の吉村さん、そして参加していただいたみなさまに、感謝しながらこの報告を終えたいと思います。至らぬ点がたくさんの私でしたが、みなさんで創れた交流、とっても楽しかったです。

ありがとうございました！

桑名ブロック

特定非営利活動法人よすが いーばしょ

野田 盛二